

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(平成30年9月5日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>SPコミックス 本当にあった たまらない話</p> <p>平成30年8月17日発行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・修整はされているものの、性描写が多く指定やむなし。 ・擬音や体液の描写が多く、絵も上手なためリアルに感じる。ストーリーにも人格否定的なものがあり、青少年に対し問題があるように思える。指定やむなし。 ・短編集でストーリー性もあるが、性交シーンが多く卑わい感が強い。指定該当やむなし。 ・性器に白抜きは施されているが、形状が分かる描き方。陰毛や体液描写もリアルで多い。一般的にリアル感を重視した印象を受ける。一部のストーリーで暴力的な表現もあり、区分陳列の対象とせざるを得ないと考える。指定該当 ・性描写の多くは露骨になりすぎないように構図などが工夫されているが、ラストは決まって局部アップの挿入シーンとなっており、露骨になってしまっており、全体としての卑わい感も高めてしまっている。指定やむなし。 ・擬音、体液描写は控えめ。絵が上手で陰毛の描写もリアル。開脚させて女性器を強調する構図も卑わいな感じを与えており、性的行為を露骨に描写していると言える。性器、肛門の白抜きの修整が小さめで卑わい。指定該当 ・劇画のペンタッチで描く体験談ものという古いジャンルのため、青少年にとって卑わい感はないように思う。ただし、一部の作品では立場を利用した性行為の強制が描かれており、青少年にふさわしくない。指定やむなし。 ・リアルな性物語が、青少年にもこういった行為ができるんだと思わせるような内容となっており、指定やむなし。 ・昔ながらのエロ漫画の作風といった印象。ストーリー性や性交描写も特別に卑わいを感じるものではなく、一定の修整も認められる。ただ、ソフトな表紙、タイトルと本編内容にギャップがあり、青少年が購入しやすいコーナーでの販売はいかがなものかと思判断に迷う。保留 ・タイトルの「本当にあった～」というように、日常的にありうる場面を描いた短編集。一話が短くストーリー性もあまり感じられない。絵もやわらかく卑わい感、人格否定もあまり感じられない。毎回性交で終わるという点が気になるが、指定非該当 ・白抜き修整はなされており、体液や擬音はあるが露骨ではなく、それほど卑わいには感じない。指定非該当 ・短編集で普通のエロ本。描写も特別過激ではなく、陰毛は描かれているが雑で、局部は一応消されている。特に暴力的な所も卑わいを感じる所もなく話が終わる。指定非該当 ・擬音、体液などは抑え目で派手ではない。性器も白く修整されていて、形状がわからないようになっている。男性器を口へ入れる場面や複数による乱交シーンがあり、ややリアルではあるが、短編集のためあっさりとした印象。絵が上手いため一定の刺激はあるが、青少年に与える影響が大きいとは思えない。指定非該当 ・一話ごとに性的なシーンがあるためやや分量は多いが、話の流れの中での必然性があり、消しもしっかりしている。実録ものであり、目くじらをたてるほどのものが疑問。指定非該当 ・絵が上手なので生々しさを感じるが、それは魅力の一つと考える。アンソロジーのため、性行為が多いように思えるが、キャラ同士で無理やりしているようには感じなかった。消しは甘いところもあるが、指定するほどではないと思う。指定非該当 ・社会通念上、強姦等にあたる人格否定の表現があるものの、物語上結論として美化しているとは言えない。陰毛等は描かれているが、性器そのものは形状不明となる処理がされている。指定非該当 ・性器は白抜き修整がされており、コミカルな内容が卑わいさを抑えている。指定非該当

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(平成30年9月5日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
2	<p>Charles Comics メスイキ×強制BL</p> <p>平成30年9月15日発行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・修整が甘いところがあり、性描写も多く、指定やむなし。 ・擬音や体液の描写が多く、性行為も露骨なため、指定該当 ・全編にわたって性的描写が多く、擬音や体液が描かれた場面も多くあり、卑わいに感じる。性器も白抜きになっているが形状が分かるものが多い。指定該当 ・性描写がリアルで露骨。性器の形は修整されているが形状がはっきりわかり、擬音、体液描写も多用されている。学生同士の話も気になる。指定該当 ・全編にわたって性描写が多い。作品によっては体液の描写や修整が甘い箇所も多く卑わいに感じる。指定該当 ・性器の白抜き修整は施されているが、ほぼ形状が分かりリアル。タイトルに「強制」とある通り、強制的な表現が多い。体液描写もリアル感には欠けるが、多い印象。指定該当 ・複数の作家による短編集のため、作品ごとに描写が異なるが、男性器の形状がはっきりわかるなど、修整が不十分な部分がある。擬音、体液の描写も作品によっては激しく、露骨で卑わいな印象を与える。タイトルから連想するほどの人格否定の要素はないが、指定該当 ・絵柄の修整が不足しており、性器そのものが露出している表現がある。人格否定、強姦を美化する面も見受けられる。指定やむなし ・マニアックなジャンルではあるものの、体液描写、擬音の描写も多く、性行為も露骨。卑わい感があると言わざるをえない。指定該当 ・小学生くらいの子供は見ないと思うが、中学生以上は興味本位で見るかもしれない。指定該当 ・タイトルのインパクトの割に、ストーリー性や設定で特に暴力性や人格否定がある印象は薄い。しかし作品によっては性交シーンの描写において性器、局所の修整が甘い箇所が目立ち、これが卑わい感につながる。擬音、体液描写も多く露骨。ただ、これも一部の作品に関してである。保留 ・一部性器の消し方に甘さが見える所と、高校生の兄弟とおぼしき二人の話は引かかる所ではあるが、大人の女性受けのためではないのかとも思う。絵の雑な所も多く、人格否定と思われる所も特には無い。指定非該当 ・オムニバスで性器や性的行為の描き方は作品によってまちまちではあるが、多くは工夫されており卑わい感は高くない。一作品のみ対象となる可能性があるが、それを理由に該当とするのは他の作品の工夫に対して失礼であるばかりか、どの表現が問題となるか不明なまま該当図書にすることになり、表現の萎縮につながる恐れがある。指定非該当 ・短編集なので作品によって違いもあるが全体的に擬音、体液とも派手なものが多い。性器も形が分かるように描いているものが多いが、どの作品も細い線で輪郭をとった単純なもの。性器の挿入部分もあまり描かれていない。性器はオモチャのような印象で卑わいを感じない。タイトルに「強制」とあるがさほど強制的な展開もない。指定非該当 ・画角で隠している部分は多いが、形がわかる所もある。アンソロジーのため各作家の力量に差があり、また分量も多くなる。消しが甘いところがあり、縛りもある。カバーなどのイメージから性的感情をあおる要素は強いが、内容は拍子抜け。指定非該当 ・アンソロジーなので性行為が多いように思えるが、お互いが望んでいるように見える。修整も少し甘いところがあるが、指定するほどまでとは思えない。指定非該当 ・性器は白抜き修整がされている。短編集であり、強く卑わいさを感じさせるものではない。指定非該当